

科目名称	日常生活援助技術Ⅰ (環境調整・移動関連の援助技術)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期		60
担当教員	村上あゆみ	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 看護師 ) <input type="checkbox"/> 無	

## 【1】 授業概要

疾病や障害により自分自身で日常生活行動が行えない患者に対して、その人にとっての健康な状態を目指して自立を支援する援助を行うことが看護である。ここでは、看護師が日常生活行動を援助する意義を理解した上で、快適な療養環境を整えるための基礎的知識と援助技術、患者の危険を回避し安全を守る基礎的知識、活動及び移動・休息のための基礎的知識と援助技術、褥瘡予防のための基礎的知識と援助技術について授業展開する。

## 【2】 学習目標

1. 患者にとって快適な療養環境を整えるための基礎的知識及び環境整備・ベッドメイキング・シーツ交換の援助技術を習得できる。
2. 患者の安全を脅かす因子及び危険予知、事故予防のための行動について理解することができる。
3. 感染予防の重要性を理解し、基礎的知識及び感染予防技術・無菌操作技術を習得できる。
4. 体位の種類と適切なポジショニングについて理解できる。
5. 活動・休息が患者に与える影響について理解できる。
6. 患者の安全・安楽を考慮した体位変換について理解し、援助技術を習得できる。
7. 患者の安全・安楽を考慮した移動・移送について理解し、援助技術を習得できる。
8. 褥瘡発生のメカニズムと予防の方法について理解できる。

## 【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
  - 1. 人間を生活者として捉えることができる。
  - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
  - 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
  - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
  - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
  - 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
  - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
  - 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
  - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

## 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	日常生活に対する援助技術 環境調整の技術①	講義
2	環境調整の技術②	講義
3	環境調整の技術③	講義
4	ベッドメイキング①	学内実習
5	ベッドメイキング②	学内実習
6	ベッドメイキング③	学内実習
7	ベッドメイキング④	学内実習
8	ベッドメイキング⑤ 環境整備	学内実習
9	ベッドメイキング 実技試験①	実技試験
10	ベッドメイキング 実技試験②	実技試験
11	臥床患者のシーツ交換①	講義
12	臥床患者のシーツ交換②	学内実習
13	転倒・転落	講義
14	誤薬防止	講義
15	患者誤認防止	講義
16	抑制法	講義
17	感染予防の基礎知識	講義
18	手指衛生	学内実習
19	個人防護具	学内実習
20	医療廃棄物の処理 物品の種類と扱い方	講義

21	無菌操作①	講義
22	無菌操作②	学内実習
23	姿勢と動作	講義
24	体位変換の援助①	講義
25	体位変換の援助②	学内実習
26	移動・移送の援助①	講義
27	移動・移送の援助②	学内実習
28	活動と休息のための援助	講義
29	褥瘡予防のための援助①	講義
30	褥瘡予防のための援助② 創洗浄・創保護	学内実習

#### 【5】 評価方法

筆記試験、実技試験、レポートの提出状況などで総合的に評価する。

#### 【6】 教科書

千葉 京子 他著「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」第7版 メヂカルフレンド社 2025年  
藤野彰子他 編著「看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年

#### 【7】 参考書

フローレンス・ナイチンゲール著 小玉香津子他訳「看護覚え書」日本看護協会出版会

#### 【8】 受講生へのメッセージ

事前学習として、教科書の該当ページを読んで授業に臨みましょう。レポートは提出期限厳守です。